SONY

3-285-375-**01** (1)

デジタルフォト プリンター

DPP-FP75

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書、別冊の「はじめにお読みください」および別冊「プリントパックについて」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊の「はじめにお読みください」、「プリントパックについて」もお読みください。

安全のために

➡67 〜 69 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

67 〜 69 ページの注意事項をよくお読みください。

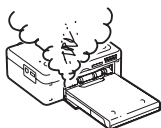
定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

AC アダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。なお、これらの点は印刷されません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- Cyber-shot、MEMORY STICK、"Memory Stick"、" メモリースティック "、MEMORY STICK 、"Memory Stick Duo"、" メモリースティック Duo"、" メモリースティック デュオ " 、MEMORY STICK DUO 、“"MagicGate Memory Stick"、" マジックゲートメモリースティック "、"Memory Stick PRO"、" メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO 、"Memory Stick PRO Duo"、“" メモリースティック PRO Duo"”、" メモリースティック PRO デュオ "、MEMORY STICK PRO DUO 、"Memory Stick PRO-HG Duo"、" メモリースティック PRO-HG Duo"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“Memory Stick Micro”、" メモリースティック マイクロ "、MEMORY STICK MICRO 、M2 、”Memory Stick-ROM”、“メモリースティック -ROM”、“ MEMORY STICK-ROM ”、"MagicGate"、" マジックゲート "、MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標または商標です。
- xD-Picture Card™、xD-Picture Card™ は、富士写真フイルム（株）の商標です。
-

 は、米国 FotoNation Inc. の商標です。
- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

目次

お使いになる前に

準備する

ダイレクトプリント編

PictBridge 編

Bluetooth 編

次のページにつづく

パソコンプリント編

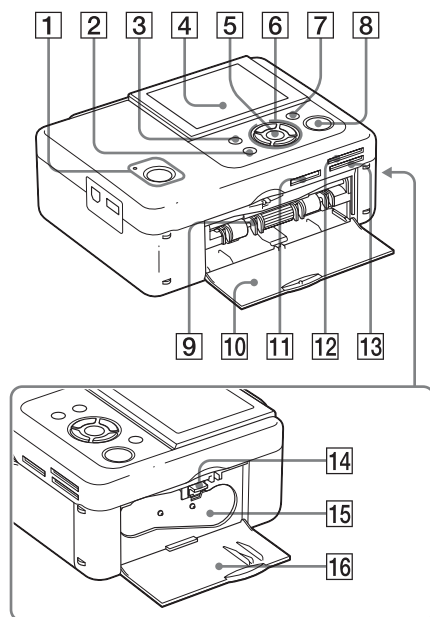
エラー表示一覧

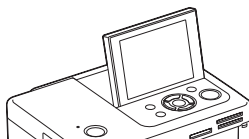
困ったときは

その他

別冊の「はじめにお読みください」、「プリントパックについて」に詳しい操作説明が記載されている場合、本書では「➡ **別冊「はじめにお読みください」**、「➡ **別冊「プリントパックについて」**のようにご案内しています。

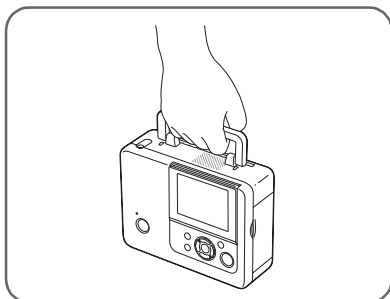
各部の名前

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

本体前面

1. ⏻(電源)ボタン／ STANDBY ランプ
2. CANCEL(取消)・ (一覧表示)ボタン
3. MENU(メニュー)ボタン
4. 液晶画面(14 ページ)

5. ENTER(決定)ボタン
6. ◁/▷/△/▽(左右上下)ボタン
7. (赤目補正)ボタン (→21 ページ)
8. PRINT(印刷)ボタン／ランプ (→17 ページ)
9. ペーパートレイ挿入部 (→10 ページ)
10. ペーパートレイ挿入ドア
11. " メモリースティック " PRO STD/ DUO (スタンダード / デュオ)スロット(→17 ページ)
12. xD-Picture カードスロット (→17 ページ)
13. SD メモリーカードスロット (→17 ページ)
14. インクリボン取り出しレバー (→9 ページ)
15. インクリボン(別売) (→9 ページ)
16. インクリボンドア (→9 ページ)

次のページにつづく

本体裏面

1 **ハンドル**
持ち運ぶときは、ハンドルを下図のようにおこして使用します。

ご注意

- 持ち運ぶ際は、必ずメモリーカード、ペーパートレイ、AC アダプターおよび、ケーブル類は本機から取りはずしてください。故障の原因になります。
- 液晶画面を元に戻してください。

2 **通風口**

3 **通紙口**

4 **DC IN 24V 端子**
付属の AC アダプターのプラグを差し込み、電源コードで AC アダプターと家庭用電源を接続します。

本体左側面

5 USB 端子(→37 ページ)
本機をパソコンにつないでお使いになるときに、USB ケーブルを差し込む端子です。

6 PictBridge/EXT INTERFACE 端子(→31、32 ページ)
PictBridge 対応のデジタルカメラ、USB メモリーなどの機器を接続する端子です。

付属品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。

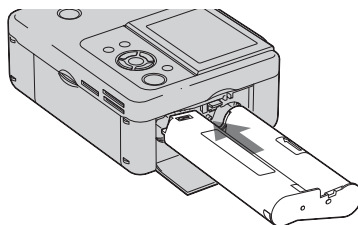
- ペーパートレイ（1 個）
- AC アダプター（1 個）
- 電源コード（1 本）
- クリーニングカートリッジ（1 個）、クリーニングシート（1 枚）
- CD-ROM（Windows 用プリンタードライバー Ver.1.0、Picture Motion Browser Ver.3.0)（1 枚）
- 取扱説明書（本書）
- はじめにお読みください（1 部）
- プリントパックについて（1 部）
- 保証書（1 部）
- カスタマー登録のご案内（1 部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1 部）
- ソフトウェア使用許諾契約書（1 部）

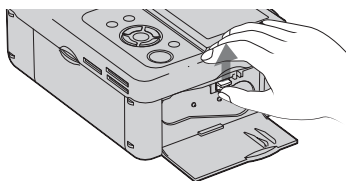
ソニー専用プリントパック(別売)について

ソニー専用プリントパックをご使用ください。詳しくは別冊の「プリントパックについて」をご覧ください。

インクリボンを入れる

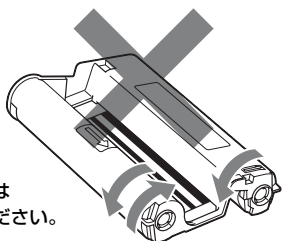
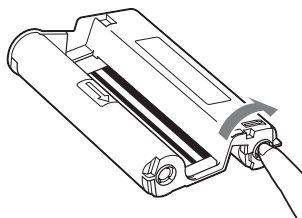
1 インクリボンドアを手前に開ける。

2 インクリボンを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで奥へ差し込む。

3 インクリボンドアを閉める。

インクリボンを取り出すには
青色の取り出しレバーを上に押して、インクリボンを取り出します。

ご注意

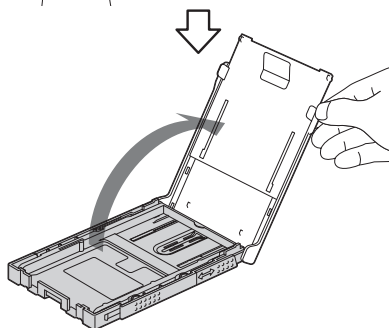
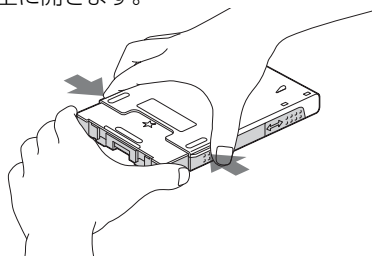
- インクリボンは、L サイズ用と、ポストカードサイズ用の 2 種類があります。プリントペーパーとインクリボンの組み合わせが正しくないと印刷できません。
- プリントペーパーと同じ箱に入っているインクリボンをご使用ください。
- インクリボンのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。

準備する

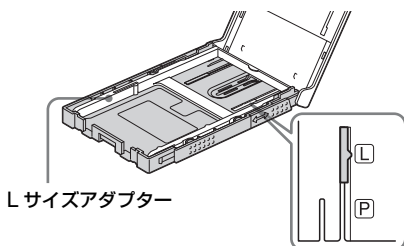
• リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られず、故障の原因にもなります。インクリボンがうまく入らないときは、いったんインクリボンを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンの芯を押し込みながら矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。

• インクリボンは分解しないでください。
• インクリボンからリボンを引き出さないでください。
• プリント中はインクリボンを取り出さないでください。
• インクリボンは湿度や温度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところは避け、なるべく冷暗所に保存し早めのご使用をおすすめします。保存状態によっては変退色する場合があり、このようなインクリボンのご使用による印画結果の補償、代償はいたしかねますので、ご容赦ください。

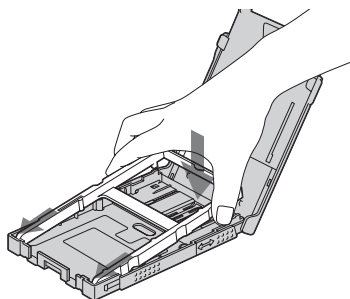
プリントペーパーを入れる

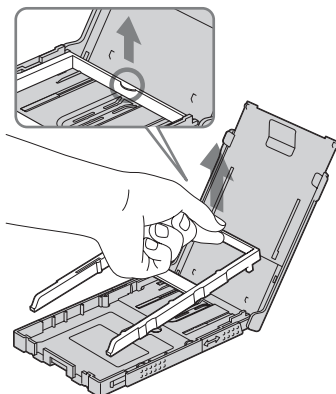
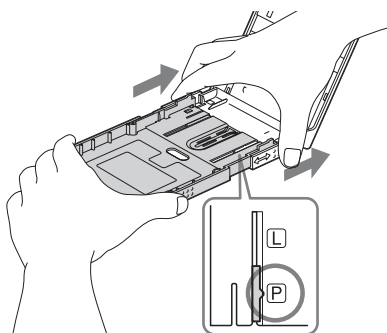
1 ペーパートレイのカバーを上に開ける。

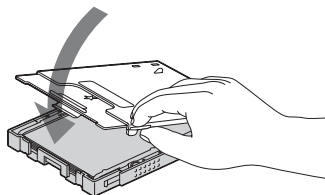
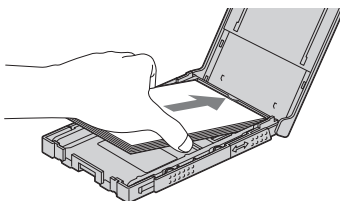
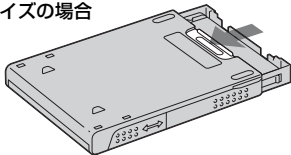
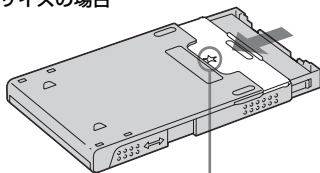
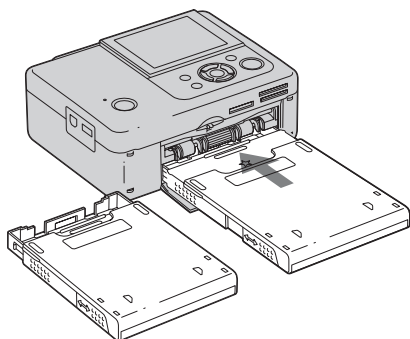
横の矢印の部分をつまんで、カバーを上に開きます。

2 お使いになるペーパーサイズに合わせてペーパートレイを準備する。

■L サイズの場合

L サイズアダプターを取り付けたままで使用します。

L サイズアダプターを取り付けるには

L サイズアダプターのツメをトレイ先端の穴に合わせて､アダプター後部を下ろします。

■P サイズの場合

L サイズアダプターの後ろ中央部分を持ち、上にはずします。

ペーパートレイを矢印方向にスライドさせ、「カチッ」と止まるまでのばします。底面の矢印（▲）が、「P」の位置に合っているか確認してください。

3 ペーパートレイにプリントペーパーを入れる。

次のページにつづく

4 スライドカバーを開ける。

5 ペーパートレイを本体に差し込む。

ご注意

- ペーパートレイには、20 枚まで入れられます。プリントペーパーを良くさばいてから、保護シートを上にして入れます。保護シートは取り除きます。
- プリント面(白無地)は上にして入れます。
- プリント面には触れないでください。プリント前に汚れや指紋が付着しますと、プリント結果に影響があります。
- プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。
  - 切手やシールを貼らない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が 20 枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。(同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。)
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

保存上のご注意

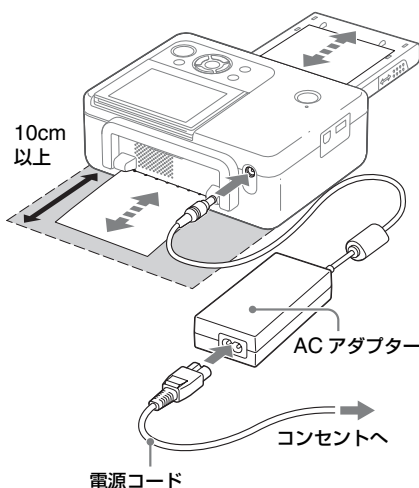
- プリントペーパーをペーパートレイに入れたまま保管する場合は、ペーパートレイをプリンター本体から取りはずしてスライドカバーを閉じて保管してください。
- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変退色することがあります。
- 温度や湿度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用途中でペーパートレイから取り出して保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋などに入れて保存してください。

電源をつなぐ

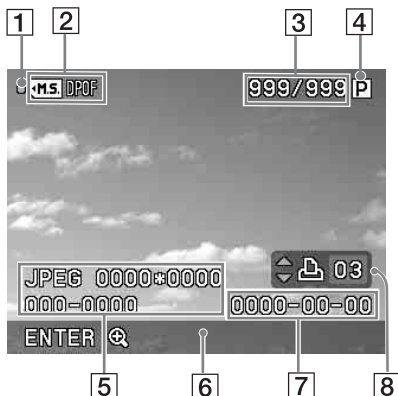
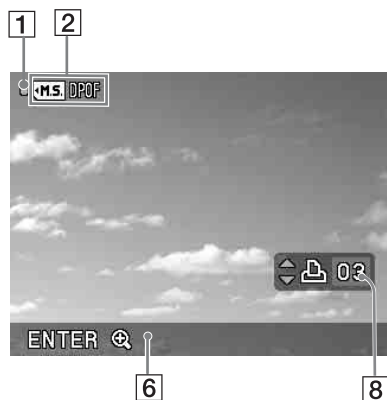
1 AC アダプターのプラグを本体背面の DC IN24 V 端子につなぐ。

2 電源コードのプラグを AC アダプターとコンセントに差し込む。

ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- プリント時、背面からも何度かプリントペーパーが出てきます。AC アダプターや電源コードで通紙口をふさがないよう、背面のスペースは 10 cm 以上とるようにしてください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 24V 端子から、電源コードをコンセントから取りはずしてください。

画面の表示

一枚表示画面

OSD 表示:「ON」

OSD 表示:「OFF」

一枚表示画面での表示は、メニューの「画像情報表示」(28 ページ)で切り換えることができます。

1 **アクセス表示**
メモリーカードや USB メモリーにアクセス中に表示されます。

ご注意
表示中は、メモリーカードや USB メモリーを抜いたり、電源を切らないでください。データが破損する場合があります。

2 **入力、設定表示**
表示されている画像の入力、設定情報が表示されます。

表示	意味
M.S.	" メモリースティック " 入力
SD	SD メモリーカード入力
XD	xD-Picture カード入力
USB	USB メモリー入力
DPOF	DPOF(プリント予約)表示

3 **選択画像数/全画像数**

4 **インクリボン種類表示**
P : P サイズ(ポストカードサイズ)
L : L サイズ
C : クリーニングカセット

5 **画像ファイル情報(ファイル形式、サイズ、画像番号(フォルダ - ファイル名)*)**
(*DCF 準拠の画像の場合。DCF 準拠でないファイルは、ファイル名の一部が表示されます。)

6 **ガイドメッセージ**

7 **撮影年月日**

8 **プリント枚数設定**

画像一覧表示画面

選択しているメディア内の画像一覧を表示します。

1 **カーソル（オレンジ枠）**
◁/▷/△/▽ ボタンを押して、カーソルの位置（選択画像）を移動できます。

2 **プリント枚数設定**
プリント枚数を設定しているときにだけ表示されます。

3 **スクロールバー（全画像数内で、この画像の位置を表示）**

4 **DPOF DPOF（プリント予約）表示**

画面表示を切り換える

画面の表示は、次の手順で切り換えることができます。

- **画像一覧画面を表示する**
  一枚表示画面で CANCEL ボタンを押します。
  複数のページがある場合は、△/▽ ボタンでページを切り換えることができます。
- **一枚表示画面を表示する**
  画像一覧画面で、◁/▷/△/▽ ボタンで一枚表示したい画像を選び、ENTER ボタンを押します。一枚表示画面で、◁/▷ ボタンを押すと、表示される画像が切り換わります。
- **画像を拡大する**
  一枚表示画面で ENTER ボタンを押します。押すたびに、画像が、1.5 倍、2 倍、3 倍、4 倍、5 倍、等倍 ... の順に拡大表示されます。拡大表示時、◁/▷/△/▽ ボタンで表示される位置を移動することができます。

等倍 ➔1.5 倍 ➔2 倍 ➔3 倍 ➔4 倍 ➔5 倍

ダイレクトプリント編

次のページにつづく

アイコン一覧

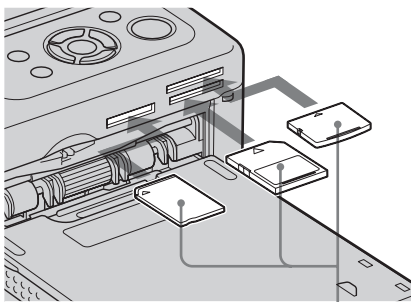
画面に表示される主なアイコンは次のとおりです。
◁/▷/△/▽ ボタンで画面上のアイコンを選び、ENTER ボタンを押すことによって、作業を進めます。（　）内の数字は、参照ページを示しています。

表示	意味
	画像編集（22）
	分割写真（24）
	証明写真（25）
	まとめてプリント（26） （全画像 / インデックス / DPOF)
	設定（27）
画像編集 / 分割写真 / 証明写真	
	画像を拡大、縮小（22）
	画像を移動（22）
	画像を回転（22） （時計方向に 90 度ずつ）
	画質を調整（22）
	白黒写真（25） 証明写真のときだけ選択できます。
	画像編集のリセット（23）
	編集画像の印刷（23）
	メニュー終了（24）

表示	意味
まとめてプリント	
	インデックス（26） （全画像の分割画面プリント）
	全画像を一枚ずつプリント（26）
	DPOF（26） （一枚表示で、プリントマーク（DPOF）の付いた画像を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントします。）
設定	
	日付プリント（27）
	プリント仕上げ（27） （フチあり / フチなし）
	画像情報表示（28）
	プリント画質（29）
	プリンター本体表示（29）
	初期設定（30） （工場出荷時の初期設定に戻します。）

プリントしてみよう

メモリーカードを入れる

プリントしたい画像を保存しているメモリーカード（" メモリースティック "、“メモリースティック デュオ”、SD メモリーカード、xD-Picture カード）の**ラベル面を上にして**、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れます。
本機で使用できるメモリーカードの詳細については、60 ～ 61 ページをご覧ください。

ラベル面を上に左から、“メモリースティック“（“メモリースティック デュオ”）、SD メモリーカード、xD-Picture カード

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを差し込んだ方向と逆の方向へ取り出します。

ご注意

- お使いになるメモリーカードのみを入れてください。複数のメモリーカードが挿入された場合、先に挿入されているものが優先されます。
- 本機には、スタンダード / デュオ サイズ対応スロットが搭載されていますので、“メモリースティック”アダプターは不要です。
- メモリーカードご使用の際は、60 ～ 61 ページに記載のご注意をお守りください。

画像を選んでプリントする

メモリーカードや USB メモリーの画像を本体の液晶画面に表示し、選んだ画像をプリントする方法を説明します（ダイレクトプリント）。
USB メモリーについては、31 ページをご覧ください。

印刷枚数を設定する

1 **⏻（電源）ボタンを押して、電源を入れる。**

STANDBY ランプが消灯します。画面にメモリーカードまたは USB メモリーの画像が表示されます。

2 **◁/▷ ボタンで画像を選ぶ。**

3 **印刷枚数を設定する。**

表示している画像を 1 枚印刷する場合は、（この手順をとばして）手順 4 に進んでください。
△/▽ ボタンで枚数を設定します。

4 **PRINT ボタンを押す。**

PRINT ボタンが緑に点灯しているときはプリントできます。表示されている画像がプリントされます。

複数の画像を一度にプリントするには

手順 2、3 を繰り返します。

枚数を変更するには

変更したい画像を表示して、△/▽ ボタンで枚数を変更します。「0」を選ぶと印刷がキャンセルされます。

次のページにつづく

画像を拡大する（トリミングプリント）

プリントしたい大きさになるまで、ENTER ボタンを押します。5 倍まで拡大することができます。◁/▷/△/▽ ボタンを押すと、表示位置が移動します。PRINT ボタンを押すと、印刷プレビュー画面が表示されます。そこでもう一度 PRINT ボタンを押すとプレビュー画面が印刷されます。

他に印刷枚数を設定している画像があっても、表示していた画像だけがプリントされます。

ご注意

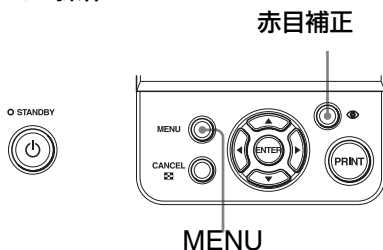
- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。インクリボンが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを装着したまま電源を入れなおし、排紙後にプリント操作を最初からやり直してください。
- プリント中はペーパートレイを抜かないでください。故障の原因になります。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。
- プリントペーパーが詰まった場合は57 ページをご覧ください。

本機の入力について

本機には入力切り換えスイッチはありません。メモリーカードまたは USB メモリーを接続すると、自動的に接続したカードまたは機器の画像が表示されます。複数のカードまたは機器が挿入された場合、先に挿入、接続されているものが優先されます。

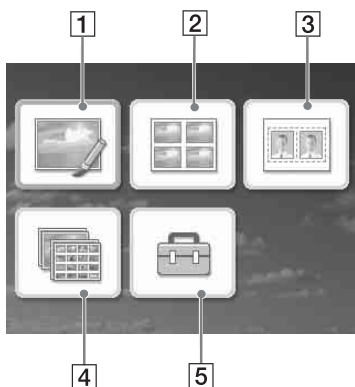
また、複数のカードまたは機器が挿入されている状態で電源を入れたときは、“メモリースティック”（“メモリースティック デュオ”）、SD メモリーカード、xD-Picture カード、PictBridge/EXT INTERFACE 端子につないだ USB メモリーの優先順位で表示されます。

いろいろなプリントを楽しむ

● 本体ボタンでの操作

赤目補正 →21 ページ

赤目補正ボタンを押すと、自動的に赤目を補正します。

プリントの種類

MENU ボタンを押して、目的のアイコンを選択します。

- 目的のアイコンを ◁/▷/△/▽ で選択し、ENTER ボタンを押します。
  1 画像編集
  2 分割写真プリント
  3 証明写真プリント
  4 まとめてプリント
  5 設定
- メニューを消すには、再度 MENU ボタンを押します。

1 画像編集 →22 ページ

選択された 1 枚の画像の大きさ、位置、色合い調整などを行います。

使用するアイコンは、16 ページをご覧ください。

ダイレクトプリント編

次のページにつづく

2 分割写真プリント →24 ページ

複数の写真を分割画面に配置して、印刷できます。

- L サイズ：2 分割、4 分割、9 分割
- P サイズ：2 分割、4 分割、9 分割、13 分割、16 分割

3 証明写真プリント →25 ページ

写真の縦横のサイズを自由に指定できます。

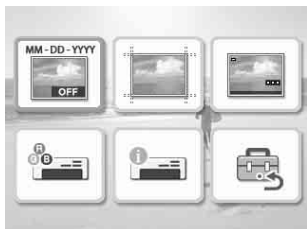
- パスポートなどの証明写真や小さな写真立て用に便利です。

4 まとめてプリント →26 ページ

メモリーカードまたは USB メモリー内の画像をまとめてプリントできます。

全画面印刷、DPOF 印刷、インデックスをプリントします。

5 設定 →27 ページ

プリント時やプリンター本体の設定、画面の表示方法を変更できます。

赤目を補正する

1 補正したい画像を一枚表示し、（赤目補正）ボタンを押す。

表示されている画像の赤目補正が始まり、補正画像の印刷イメージ（印刷プレビュー）が表示されます。

元の画像（補正前の画像）を見るには

（赤目補正）ボタンを押します。再度押すと補正後の画像に戻ります

補正を取り消すには

CANCEL ボタンを押します。

ちょっと一言

ENTER ボタンで拡大して赤目補正の状態を確認できますが、プリントされる画像は拡大されません。
画像を拡大して赤目補正をかけた印刷を行いたいときは、先に拡大してから赤目補正を行ってください。

印刷枚数を設定している場合は

印刷枚数が設定されている画像が、すべて補正されます。◁/▷ ボタンで他の画像を確認できます。

印刷枚数を設定するには

赤目補正ボタンを押す前に枚数設定 (17 ページ) をしてください。
赤目補正後は 枚数の設定・変更はできませんので、赤目補正をキャンセルして設定してください。

ちょっと一言

- 印刷枚数が設定されている画像がない場合は、一枚表示されている画像だけが赤目補正されます。
- 印刷枚数が設定されている画像がほかにあり、一枚表示されている画像に印刷枚数が設定されていない場合は、一枚表示されている画像は赤目補正はされません。印刷枚数が設定されている画像が赤目補正されます。
- 画像を拡大している場合は、他に印刷枚数を設定している画像があっても、拡大表示している画像だけが赤目補正され、印刷されます。

2 PRINT ボタンを押す。

赤目補正された画像のプリントが始まります。印刷枚数を設定している場合は、設定された枚数が印刷されます。

ちょっと一言

- 補正されるのは印刷結果のみで、オリジナル画像は補正前のままです。
- 赤目補正を行った後は、画像編集はできません。

ご注意

- 画像によっては赤目の補正ができない場合があります。
- 画像編集メニューで（リセット）を選び、画像編集を取り消した場合は、赤目補正も取り消されます。
- 赤目補正中は、メモリーカードまたは、USB メモリーからのデータの読み込みと処理中をあらわすアニメーションが表示されます。アニメーション表示中は、メモリーカードや USB メモリーを本機から取り出さないでください。

本機の自動赤目補正は、米国 FotoNation Inc. の技術を使用してます。

画像を編集する

画像を拡大･縮小する

1 画像編集メニュー（19 ページ）から ◁/▷ ボタンで、拡大するには（拡大）を、縮小するには（縮小）を選び ENTER ボタンを押す。

ENTER ボタンを押すたびに、拡大／縮小率が増加します。

：200% まで拡大できます。
：60% まで縮小できます。

ご注意

拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。

画像を移動する

1 画像編集メニュー（19 ページ）から ◁/▷ ボタンで、(移動）を選び、ENTER ボタンを押す。

画像の上下左右に矢印（◁/▷/△/▽）が表示され、画像が移動できるようになります。

2 ◁/▷/△/▽ ボタンを押して、画像を移動する。

画像が選んだ方向に移動します。

3 ENTER ボタンを押す。

位置が確定します。

4 PRINT ボタンを押す。

画像を回転する

1 画像編集メニュー（19 ページ）から ◁/▷ ボタンで、(回転）を選び、ENTER ボタンを押す。

ボタンを押すたびに画像が時計方向に 90 度回転します。

2 PRINT ボタンを押す。

画質を調整する

1 画像編集メニュー（19 ページ）から ◁/▷ ボタンで、(画質調整)を選び、ENTER ボタンを押す。

画質調整メニューが表示されます。

項目	機能
Brightness	明るさを調整
Tint	色合いを調整
Saturation	色の濃さを調整
Sharpness	シャープネスを調整
	画質調整を終了します。画質調整設定の内容を反映して、一つ前の画質編集メニュー画面に戻ります。

2 ◁/▷ ボタンで調整したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。

それぞれの項目の調整画面が表示されます。

![icon] （明るさ）を選んだ場合

◁/▷ ボタン

◁/▷ ボタンでレベルを確認しながら調整します。

- **明るさ**
  画像を全体的に明るくするには ▷ を、暗くするには ◁ を押します。
- **色あい**
  緑っぽい色あいにするには ▷ を、赤っぽい色あいにするには ◁ を押します。
- **色の濃さ**
  全体的に色を濃くするには ▷ を、薄くするには ◁ を押します。
- **シャープネス**
  画像の輪郭を鮮明にするには ▷ を、ぼかすには ◁ を押します。

3 **ENTER ボタンを押す。**
調整が確定され、他の項目を調整することができます。

4 **◁/▷ ボタンで （終了）を選び、ENTER ボタンを押す。**
画質調整を終了します。

5 **PRINT ボタンを押す。**

編集した画像を印刷する

1 **◁/▷ ボタンで、（印刷）を選び、ENTER ボタンを押す。または、本体の PRINT ボタンを押す。**
印刷画面が表示されます。
プリント枚数が表示されます。

2 **プリント枚数を設定する。**
- 枚数を 1 枚ずつ増やすには、△ ボタンを繰り返し押します。
- 枚数を 1 枚ずつ減らすには、▽ ボタンを繰り返し押します。

3 **ENTER ボタンを押す。**

操作をリセットする

1 **◁/▷ ボタンで （リセット）を選び、ENTER ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

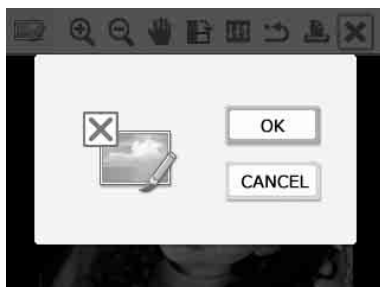
2 **△/▽ ボタンで [OK] を選び、ENTER ボタンを押す。**
画像編集での設定と赤目補正を無効にし、画像を編集前の状態に戻します。
画像編集または調整メニューに戻ります。

次のページにつづく

CANCEL ボタンを押した場合、または [CANCEL] を選んで ENTER ボタンを押した場合は、ひとつ前の画面に戻ります。

メニューを終了する

1 **◁/▷ ボタンで（終了）を選び、ENTER ボタンを押す。**
確認画面が表示されます。

2 △/▽ ボタンで [OK] を選び、ENTER ボタンを押す。
それまで行っていたメニューが終了し、メニュー選択以前の画面に戻ります。CANCEL ボタンを押した場合、または [CANCEL] を選んで ENTER ボタンを押した場合は、ひとつ前の画面に戻ります。

分割写真を作る

1 **画像編集メニュー（19 ページ）から ◁/▷ ボタンで、(分割写真）を選び、ENTER ボタンを押す。**
分割写真のひな形を選ぶ画面が表示されます。

2 **◁/▷/△/▽ ボタンでひな形を選び、ENTER ボタンを押す。**
選択したひな形のプレビュー画像が表示されます。

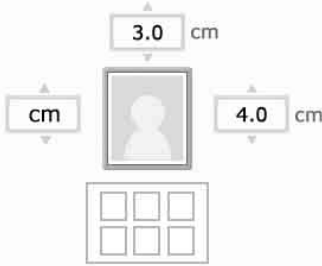
3 **画像を選択する。**
複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。
① ◁/▷/△/▽ ボタンで画像エリアを選び、ENTER ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。
② ◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選び、ENTER ボタンを押す。
画像の位置調整画面が表示されます。調整方法については、画像編集をご覧ください。（22 ページ）
本体の （赤目補正）ボタンを押すことにより、赤目を自動的に補正します。（21 ページ）赤目補正を行うと、他の画質調整ができなくなりますので、調整の最後に行ってください。

4 **◁/▷ ボタンで OK を選び、ENTER ボタンを押す。**
画像が画像エリアに追加されます。

5 **PRINT ボタンを押す。**

証明写真を作る

1 メニュー（19 ページ）から◁/▷/△/▽ ボタンで、（証明写真）を選び、ENTER ボタンを押す。

証明写真の高さ、幅を指定する画面が表示されます。P サイズのとき最大で 7 x 9cm、L サイズのとき最大で 6 x 8 cm まで指定できます。

2 ◁/▷/△/▽ ボタンで、調整したい項目を選び、ENTER ボタンを押す。

カーソルが数字側に移動します。

- 単位を指定するには：[cm]（または [inch]）を選びます。
- 縦の長さを指定するには：写真枠右の数字ボックスを選びます。
- 横の長さを指定するには：写真枠上の数字ボックスを選びます。

3 △/▽ ボタンでサイズまたは単位を設定し、ENTER ボタンを押す。

設定したサイズのレイアウトイメージが表示されます。

4 他の項目も設定したい場合は、手順 2 と 3 を繰り返す。

5 △/▽ ボタンで を選び、ENTER ボタンを押す。

画像選択画面が表示されます。

6 ◁/▷/△/▽ ボタンで画像を選び、ENTER ボタンを押す。

画像の調整画面が表示されます。画像の位置調整画面が表示されます。調整方法については、画像編集をご覧ください。（22 ページ）

なお、証明写真では、WB を使って、画像を白黒に調整することができます。

7 ◁/▷ ボタンでOKを選び、ENTER ボタンを押す。

証明写真のプレビュー画像が表示されます。

8 PRINT ボタンを押す。

ご注意

本機でプリントした写真が証明写真としてご利用できない場合があります。事前に提出先に必要条件をご確認ください。

まとめてプリント

（インデックス／ DPOF ／全画像）

- **インデックスプリント**
  メモリーカードまたは USB メモリー内の全画像を分割画面でプリントできます。画像を確認するときに便利なプリントです。分割画面数は P サイズのとき横 8 ×縦 6、L サイズのとき、横 6 ×縦 5 画面に固定されています。

- **全画像プリント**
  メモリーカードまたは USB メモリー内の全画像をプリントすることができます。
- **DPOF プリント**
  一枚表示画面で、プリントマーク（DPOF）の付いた画像（デジタルカメラなどで DPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像）を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントできます。

ご注意

- デジタルカメラなどでのプリント予約方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラなどにはプリント予約に対応していない機種もあります。また、機種によっては本機では対応できない場合もあります。

1 メニュー（19 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（まとめてプリント）を選び、ENTER ボタンを押す。

まとめてプリントメニューが表示されます。

2 ◁/▷ボタンで、(インデックス)、（全画像）、(DPOF) のいずれかを選び、ENTER ボタンを押す。

ご注意

[DPOF プリント]を選んだ場合、DPOF でプリント予約された画像がない場合は、エラーメッセージが表示され選べません。

3 プリントを開始したい場合は△/▽ボタンで［OK］を選び、ENTER ボタンを押す。

「OK」を選んだときは、PRINT が始まります。

ちょっと一言

- プリントを中止するには、手順 3 で[CANCEL]を選び、ENTER ボタンを押します。
- [設定]メニューで[日付プリント]が[ON]に設定されていても、インデックスプリントでは、撮影または保存年月日はプリントされません。

設定を変える

日付プリントを設定する

画像が DCF（Design rule for Camera File system）にそって撮影された場合、撮影情報として記録されている撮影年月日を入れて、プリントすることができます。また年月日の順番も設定できます。

1 **設定メニュー（20 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（日付プリント）を選び、ENTER ボタンを押す。**
日付プリント設定画面が表示されます。

2 **◁/▷ ボタンで、(日付プリント)、(日付プリントなし) のいずれかを選ぶ。**

3 **年月日の表示順を設定したいときは、▽ ボタンで、（年月日順）を選び、◁/▷ ボタンで年月日の順番を選ぶ。**

- 「D-M-Y」：日、月、年の順に表示されます。
- 「M-D-Y」：月、日、年の順に表示されます。
- 「Y-M-D」：年、月、日の順に表示されます。

4 **ENTER ボタンを押す。**
設定が有効になり設定メニュー画面に戻ります。

操作をやり直したいときは
CANCEL ボタンを押します。設定メニューに戻ります。

プリント仕上げを設定する(フチあり / フチなし)

1 **設定メニュー（20 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（プリント仕上げ）を選び、ENTER ボタンを押す。**
プリント仕上げ設定が表示されます。

次のページにつづく

2 ⊲/⊳ ボタンで、プリント仕上げを選ぶ。

項目	機能
	フチなし：画像の回りに余白を残さずプリントします。
	フチあり 1：画像の回りに、画像をカットすることなく余白を残してプリントします。
	フチあり 2：画像の回り、上下左右に均一の余白を残してプリントします。

3 ENTER ボタンを押す。

設定が有効になり設定メニュー画面に戻ります。

操作をやり直したいときは

CANCEL ボタンを押します。設定メニューに戻ります。

ご注意

- フチなしを選んだ場合、デジタルカメラなどで撮影した一般的な 4:3 の画像をプリントすると、上下がカットされ、3:2 の画像でプリントされます。
- フチあり 2 を選んだ場合、画像によっては上下または左右がカットされてプリントされることがあります。

画像情報表示を設定する

1 設定メニュー（20 ページ）から ⊲/⊳/△/▽ ボタンで、（画像情報表示）を選び、ENTER ボタンを押す。

（20 ページ）

画像情報設定画面が表示されます。

2 ⊲/⊳ ボタンで、画像情報を表示するかどうかを選ぶ。

項目	機能
	画像情報表示オフ：画像の一枚表示時、印刷枚数と入力設定表示以外の情報は表示されません。
	画像情報表示オン：画像の一枚表示時、印刷枚数、入力設定表示以外にも、選択画像数、撮影年月日、画像の詳細表示が表示されます。

3 ENTER ボタンを押す。

設定が有効になり設定メニュー画面に戻ります。

操作をやり直したいときは

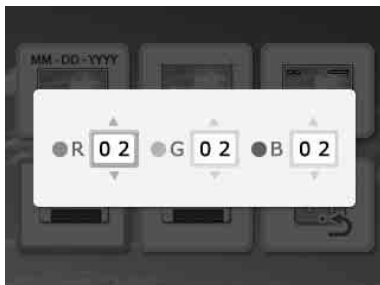
CANCEL ボタンを押します。設定メニューに戻ります。

ちょっと一言

撮影年月日の年月日順番は、「日付プリントの設定」と同じ順番になります。

プリント画質を設定する

1 **設定メニュー（20 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（プリント画質）を選び、ENTER ボタンを押す。**

プリント画質設定画面が表示されます。

2 **◁/▷ ボタンで、色要素を選び、△/▽ ボタンでレベルを設定する。**

各要素とも＋ 4 〜－ 4 の間で調整できます。

- R：赤と水色の成分を調整します。値を大きくすると、赤い光を軽くあてたように赤味が増します。値を小さくすると、暗くなり赤味が落ちます。また同時に水色を加えたようになります。
- G：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると、緑の光を軽くあてたように緑味が増します。値を小さくすると、暗くなり緑味が落ちます。また同時に赤紫色を加えたようになります。
- B：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると、青い光を軽くあてたように青味が増します。値を小さくすると、暗くなり青味が落ちます。また同時に黄色を加えたようになります。

3 **ENTER ボタンを押す。**

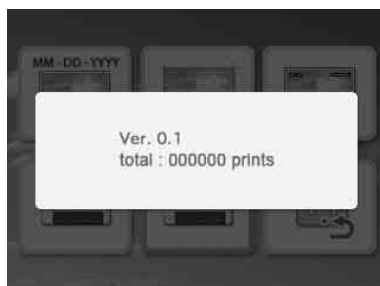
設定が有効になり設定メニュー画面に戻ります。

操作をやり直したいときは

CANCEL ボタンを押します。設定メニューに戻ります。

プリンター本体情報を表示する

1 **設定メニュー（20 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（本体情報表示）を選び、ENTER ボタンを押す。**

プリンターのバージョン番号と総プリント枚数が表示されます。

2 **ENTER ボタンを押す。**

プリンターの情報画面が閉じます。

ダイレクトプリント編

次のページにつづく

設定を初期値に戻す

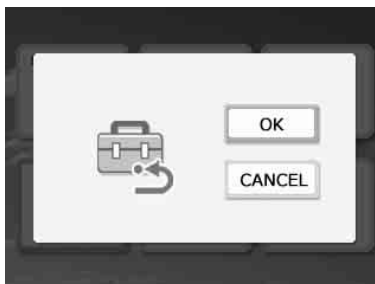
1 **設定メニュー（20 ページ）から ◁/▷/△/▽ ボタンで、（設定初期化）を選び、ENTER ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

2 **△/▽ ボタンで [OK] を選び、ENTER ボタンを押す。**

設定値がすべて工場出荷時の初期値に戻ります。

操作をやり直したいときは

CANCEL ボタンを押します。

USB メモリーから プリントする

本機と USB メモリーを接続し、画像をプリントできます。

ご注意

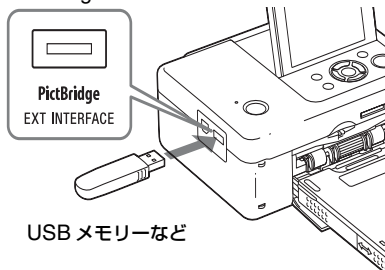
- すべてのUSBメモリーとの接続を保証するものではありません。
- マスストレージ対応のデジタルカメラやフォトストレージについては、接続は保証されません。
- 本機にメモリーカードが挿入されていると、PictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続した機器の画像が読み取れません。本機にメモリーカードが挿入されている場合は、抜いてください。

1 **本機の電源をつなぐ。（「13 ページの「電源をつなぐ」を参照）**

2 **本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。**

3 **USBメモリーを本機のPictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続する。**

ご注意

- USB メモリーのアクセスランプが点滅中に、USB メモリーを抜いたり、本機の電源を切らないでください。USB メモリー内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任は負いかねます。
- USB ハブやUSB ハブを内蔵したUSB 機器は正常に動作しません。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮されたデータは、本機ではご使用になれません。

PictBridge カメラからプリントする

本機と PictBridge 対応のデジタルカメラを接続し、デジタルカメラ側で操作しながらプリントできます。
PictBridge からプリントする場合は、あらかじめ本機からメモリーカード、PC をはずしてください。

1 PictBridge 対応のデジタルカメラを、PictBridge 対応プリンターとの接続モードに設定する。

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラによって異なります。デジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。（PictBridge 対応 Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を「PictBridge」に設定します。）

2 本機の電源をつなぐ。（「13 ページの「電源をつなぐ」を参照）

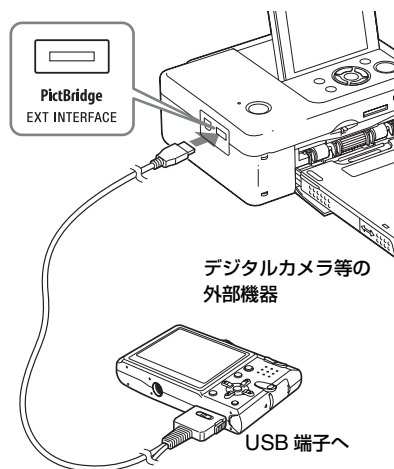
3 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

4 PictBridge 対応のデジタルカメラを本機をにつなぐ。

PictBridge対応のデジタルカメラを本機のPictBridge/EXT INTERFACE 端子に接続すると、本機の液晶画面に「PictBridge」と表示されます。

5 デジタルカメラ側から操作してプリントを行う。

本機では、以下のプリントモードに対応しています。

- 一枚画像のプリント
- 全画像プリント
- インデックスプリント
- DPOF プリント
- フチあり／フチなしプリント
- 日付プリント

ご注意

- PictBridge 対応のデジタルカメラと接続している間にインクリボンを入れ換えた場合は、正常にプリントされないことがあります。その場合はもう一度接続しなおしてください。
- PictBridge/EXT INTERFACE に接続した場合も、本機のプリント設定メニューにしたがってプリントされます。ただし、デジタルカメラでフチあり／フチなし、日付を設定した場合はデジタルカメラの設定が優先されます。本機の設定が「フチなし」で、デジタルカメラの設定が「フチあり」の場合は、「フチあり 1」で印刷されます。
- USBハブやUSBハブを内蔵したデジタルカメラは正常に動作しない場合があります。
- デジタルカメラのエラーメッセージについてはお使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 対応機器からプリントする

本機の PictBridge/EXT INTERFACE 端子に Bluetooth USB アダプター DPPA-BT1 を取り付けると、Bluetooth 対応の携帯電話やデジタルカメラなどからワイヤレスでプリントすることができます。

Bluetooth 通信を行なうための条件（対応プロファイル）

DPP-FP75 は、以下のプロファイルに対応しています。

- BIP(Basic Imaging Profile)
- OPP(Object Push Profile)

ご使用の Bluetooth 機器の対応プロファイルについては、ご使用の機器の取り扱い説明書をご覧ください。

プロファイルとは？

Bluetooth 通信を行うための規格です。使用目的やお使いになる製品の特性によって、いくつかのプロファイルがあります。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器が共通のプロファイルに対応している必要があります。

プリント可能なファイルフォーマット

JPEG:　DCF 2.0 準拠、Exif 2.21 準拠、JFIF（4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン JPEG）
TIFF:　Exif 2.21 準拠
BMP:　1、4、8、16、24、32 ビット Windows 形式

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

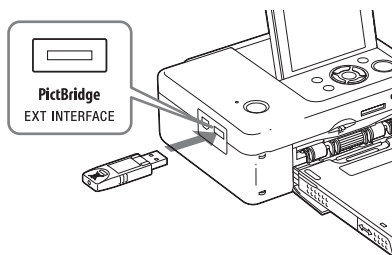
扱える最大画素数

6,400 x 4,800 ドット（最大 3.5MB 以下）

プリント手順

1 本機の電源をつなぐ。（「13 ページの「電源をつなぐ」を参照）

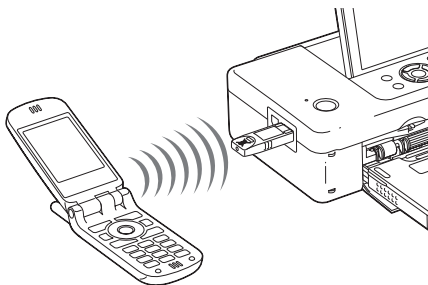
2 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

3 Bluetooth アダプターを本機の PictBridge/EXT INTERFACE 端子に差し込む。

ご注意

本機のカードスロットやPictBridge/EXT INTERFACE 端子、USB 端子に、メモリーカード、カメラなどの外部機器や USB ケーブルなど、Bluetooth アダプター以外の機器が接続されている場合、取り外してから Bluetooth アダプターを差し込んでください。

4 携帯電話などのBluetooth対応機器からプリントする。

プリント方法は、ご使用の Bluetooth 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

Bluetooth 対応機器からプリンターを選択する場合は、「Sony DPP-FP75 ##」を選択してください。「##」には、液晶画面に表示されたアドレスの一番右の英数字が表示されます。

パスキー* の入力を求められたら

「0000」を入力してください。プリンターでパスキーを変更することはできません。

* パスキーは、パスコードや PIN コードと呼ばれることもあります。

ご注意

- お買い上げの国や地域以外では、DPPA-BT1 を使用しないでください。国や地域によっては電波制限があるため、本製品を使用した場合罰せられることがあります。
- 障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって、通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  - 本機と携帯電話などの Bluetooth 機器との間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
  - 無線 LAN が構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- Bluetooth 機器と無線 LAN（IEEE802.11 b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本機と携帯電話を接続するときは、無線 LAN から 10m 以上離れたところで行う。
  - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
- 本機とすべての Bluetooth 機器との無線通信についての保障はいたしかねます。
- Bluetooth を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の使用目的に反した改造やご使用によって生じた損害や故障につきましては補償いたしかねます。

警告

- Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  - 自動ドアや火災報知機などの自動制御装置の近く
  - 医療機器の近くで使わない。
- 電波が、心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。
- 分解や改造をしない。火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

パソコンから プリントする

付属の CD-ROM のソフトウエアをパソコン（Windows PC）にインストールして、本機とパソコンを接続すると、パソコン内の画像をプリントできます。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェア Picture Motion Browser のインストール方法、パソコンと本機との接続方法、Picture Motion Browser を使ったプリント方法について説明します。パソコンの使いかたについては、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
なお、付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

付属の CD-ROM について
付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-FP75 プリンタードライバー
  DPP-FP75 について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-FP75 を使ってパソコンからプリントできるようになります。
- Picture Motion Browser（ピクチャーモーション・ブラウザー）
  写真や動画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

ソフトウェアを インストールする

必要なシステム構成

付属のプリンタードライバーとソフトウェア Picture Motion Browser をお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたパソコンが必要です。

推奨 OS（*1）:	Microsoft Windows Vista（*2）/ Windows XP SP2（*2）/ Windows 2000 Professional SP4 (工場出荷時にインストールされていること） （*1）Windows 2000 Professional SP2 以前、および Windows Me 以前の OS では動作しません。また、Macintosh でも動作しません。 （*2）Picture Motion Browser は、64bit 版は除きます。
CPU:	Pentium III 500MHz 以上 (Pentium III 800MHz 以上推奨)
RAM:	256MB 以上 (512MB 以上推奨)
ハードディスクの空き容量：	400MB 以上（ご使用状況によっては、それ以上必要な場合があります。）
ディスプレイの設定について：	画面の解像度 : 1024 × 768 ドット以上推奨 画面の色 : High Color (16 ビット) 以上
接続端子	USB 接続端子

次のページにつづく

ドライブ　CD-ROM ドライブ（インストール時に必要）

ご注意

- 1台のパソコンに複数のUSB接続(他のプリンターを含めて)をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はパソコンのスタンバイ、スリープ、再起動および休止状態には対応していません。印刷中にパソコンをスタンバイモード、スリープモード、再起動および休止状態に切り換えないでください。印刷に失敗することがあります。
- 印刷が正常にできなくなった場合は、USBケーブルを一度抜いて差し直すか、もしくはパソコンを再起動してから、もう一度印刷を実行してください。
- 印刷中のジョブに一時停止を行い、しばらく経過してから印刷を再開すると、正しく印刷されない場合があります。
- 推奨環境対応のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Picture Motion Browser は、DirectX テクノロジーに対応しているため、DirectX のインストールが必要になる場合があります。DirectX は CD-ROM 内にあります。
- Cyber-shot Viewer がインストールされているパソコンに Picture Motion Browser をインストールすると、Cyber-shot Viewer は上書きされて Picture Motion Browser となります。このとき、Cyber-shot Viewer で登録された閲覧フォルダはそのまま Picture Motion Browser にも登録されます。Picture Motion Browser では、Cyber-shot Viewer にくらべ、フォルダビュー時にグループ単位での表示が可能になるなど、より閲覧しやすくなっています。また、赤目補正機能の改善やトーンカーブ機能が付加されるなど画像編集機能が充実しました。外部メモリーカードへの書き出し機能も付加され、お気に入りの画像を外に持ち出すことも容易になっております。

プリンタードライバーをインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意

- インストール前に、本機をパソコンに接続しないでください。
- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows Vista での画面を使って説明します。OS の種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

インストール画面が表示されます。

ご注意

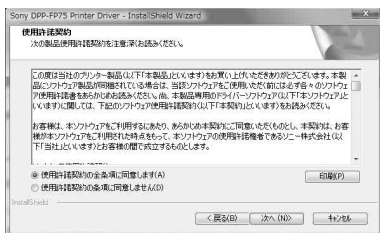
- インストール画面が表示されないときは、CD-ROM 内の Setup(.exe) をダブルクリックします。
- Windows Vista では、自動再生画面が表示される場合がありますが、「Setup.exe の実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールしてください。

2 ［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。

InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

3 ［次へ］をクリックする。

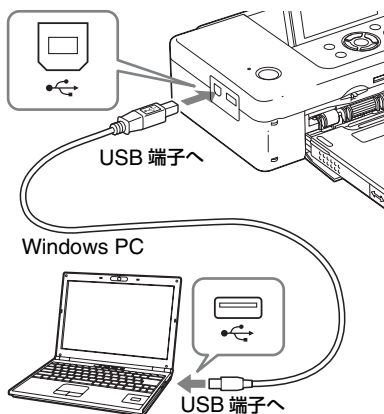
「使用許諾契約」画面が表示されます。

4 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。

5 「インストール」をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sony DPP-FP75のインストールが完了しました」が表示されたら、［完了］をクリックする。

7 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

8 パソコンと本機を市販の USB ケーブルで接続する。

ご注意

USB ケーブルは、長さ 3m 未満の B-TYPE をお使いください。

9 完了後しばらくしてから、「プリンタ」または「プリンタと FAX」に「Sony DPP-FP75」が追加されていることを確認する。

10 インストール終了後、CD-ROM をパソコンから取り出し保管する。

引き続き Picture Motion Browser をインストールする場合は、38 ページ手順 2 以降にしたがって操作する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、本機をパソコンからはずして、パソコンを再起動し、手順 2 からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-FP75」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属の CD-ROM は、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readme ファイル（CD-ROM 内の Readme フォルダ ➔ Japanese フォルダ ➔ Readme.txt）を良くお読みください。

次のページにつづく

インストールが終わると
デスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。

プリンターカスタマー登録 WEB サイトへのショートカット

カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

Sony マイページへのショートカット

お持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.jp/pr/mypage/d-imaging/index.html

プリンタードライバーを削除するには

プリンタードライバーが不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 本機とパソコンから市販の USB ケーブルをはずす。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
インストール画面が表示されます。

ご注意
インストール画面が表示されないときは、CD-ROM 内の Setup(.exe) をダブルクリックします。

3 [プリンタードライバーのインストール] をクリックする。
InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

4 [次へ] をクリックする。
「使用許諾契約」画面が表示されます。

5 内容を良くお読みになり、同意する場合は [使用許諾契約の全条項に同意します] にチェックし、[次へ] をクリックする。
削除確認のダイアログボックスが表示されます。

6 [はい] をクリックする。
再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] をチェックして、[OK] をクリックする。
再起動後、関連のファイルが削除され、アンインストール完了です。

Picture Motion Browser をインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意
- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。
- ここでは、Windows Vista での画面を使って説明します。OS の種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

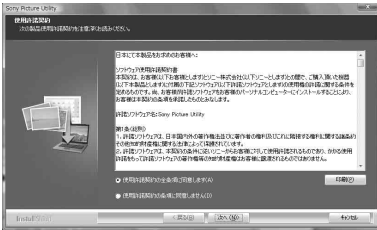
1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。
インストール画面が表示されます。

2 [Picture Motion Browser のインストール] をクリックする。
「設定言語の選択」ダイアログボックスが表示されます。

3 ［日本語］を選択し、［次へ］をクリックする。

4 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」ダイアログボックスが表示されます。

5 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します。］にチェックし、［次へ］をクリックする。

6 インストール先を確認し、[次へ] をクリックする。

プログラムのインストール準備完了ダイアログが表示されます。

7 ［インストール］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

パソコンの再起動を要求する画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動を行なってください。

8 インストール後、付属の CD-ROM をパソコンから取り出し保管する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、手順 2 からやり直してください。
- 付属の CD-ROM は、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

Picture Motion Browser を削除するには

Picture Motion Browser が不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

1 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ。

コントロールパネルが表示されます。

2 ［プログラムの追加と削除］を開く。

3 「Sony Picture Utility」を選択し、［削除］をクリックする。

アンインストールが実行されます。

Picture Motion Browser から写真をプリントする

Picture Motion Browser を使って、
パソコンからプリントできます。

1 Picture Motion Browser を起動する。

以下のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップ画面上の （Picture Motion Browser）をダブルクリックする。
- Windows の［スタート］メニューから [すべてのプログラム]（Windows 2000 では［プログラム］）－［Sony Picture Utility］－［Picture Motion Browser］の順にクリックする。

初めて起動したときは閲覧フォルダの登録画面が表示されます。
すでに「ピクチャ」に画像が保存されている場合は、［今すぐ登録］をクリックします。
「ピクチャ」以外のフォルダに画像が保存されている場合は、［後で登録］をクリックします。登録方法については、「閲覧フォルダを登録するには」（43 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

Windows XP/2000 の場合は、「ピクチャ」は「マイピクチャ」に読み換えてください。

「ピクチャ」にアクセスするには

- Windows 2000 の場合：
デスクトップ画面上の［マイ ドキュメント］－［My Pictures］の順にクリックします。
- Windows Vista/XP の場合：
［スタート］－［ピクチャ］の順にクリックします。

2 ［実行開始］をクリックする。

「Picture Motion Browser」のメイン画面が表示されます。

メイン画面には、以下の 2 通りのビュー（表示方法）があります。表示を切り換えるには、左のフレームの［フォルダ］または［カレンダー］切り換えタブをクリックします。

- **フォルダビュー**
登録したフォルダごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。
- **カレンダービュー**
カレンダー形式で撮影した日付ごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。1 年単位、1ヶ月単位、または 1 時間単位の表示に切り換えることができます。

本書では、「フォルダビュー」を使用したときの印刷方法を説明します。

3 プリントしたい静止画の入っているフォルダをクリックする。

ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。

4 プリントしたい静止画を選択し[🖶]（印刷）をクリックする。

［印刷］画面が表示されます。

5 ［プリンタ］ドロップダウンリストから [Sony DPP-FP75] を選ぶ。印刷の向きやその他の詳細設定を行う場合は手順 6 へ、すぐに印刷を行う場合は手順 11 へ進む

項目	設定内容
プリンタ	[Sony DPP-FP75] を選択してください。
用紙サイズ	変更するには、［プロパティ］をクリックします。

項目	設定内容
印刷オプション	• 画像の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷：チェックを付けると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。チェックをはずすと、画像をカットすることなく印刷します。 • 日付印刷：チェックを付けると、DCF 準拠の画像の場合、撮影日が印刷されます。
プロパティ	用紙サイズやプリント方向、画質設定など詳細の設定を行います。

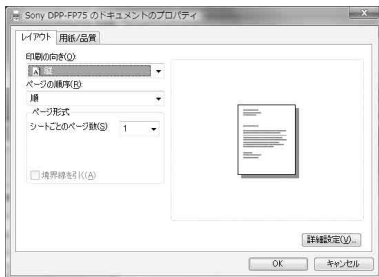
6 印刷の向きやその他の詳細設定を行うには、［プロパティ］をクリックする。

選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

なお、本機のプリンタードライバーは、マイクロソフト社の共通プリンタードライバーである Universal Printer Driver を利用しています。ダイアログボックスに表示される設定項目の中には、本機ではお使いにならない項目もあります。

7 ［レイアウト］タブで、用紙サイズなどを設定する。

パソコンプリント編

次のページにつづく

項目	設定内容
印刷の向き	画像に合わせて印刷の向きを選びます。 • 縦 • 横
ページの順序	印刷をページ順に行うか、または逆に行うかを設定します。通常は、「順」を選択してください。
シートごとのページ	1 ページに印刷するページ数を設定します。通常は、「1」を選択してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。

8 **［詳細設定］ボタンをクリックする。**

「Sony DPP-FP75 詳細オプション」画面が表示されます。

項目	設定内容
用紙／出力	• 用紙サイズ：お使いになるプリントペーパーのサイズを選びます。P サイズ、または L サイズを選びます。 • 部数：印刷部数を設定します。
グラフィックス－イメージの色の管理	• ICM の方法：本機は ICM の設定に対応しておりません。「ICM 無効」以外に設定しても印画結果には反映されません。そのままの設定でお使いください。 • ICM の目的：本機では ICM の設定は有効になりません。そのままの設定でお使いください。
ドキュメントのオプション	• 詳細な印刷機能：「有効」に設定すると、「シート毎のページ数」などの詳細な印刷オプションがオンになります。互換性に関する問題が生じた場合は、「無効」に設定してください。 • カラー印刷モード：カラーで印刷する場合は、「True Color (24bpp)」、白黒で印刷する場合は、「モノクロ」を選択してください。
プリンタの機能	• フチなし印刷：フチなし印刷を行う場合は「ON」、フチあり印刷を行う場合は「OFF」を選択してください。アプリケーションによっては、「ON」に設定してもフチなしにならない場合があります。印刷範囲いっぱいに印刷するように設定して印刷してください。

9 ［用紙／品質］タブで、給紙方法や色（カラー／白黒）などを設定する。

項目	設定内容
トレイの選択	「給紙方法」から、「自動選択」を選んでください。
色	カラーで印刷する場合は「カラー」、白黒で印刷する場合は「白黒」に設定してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。詳細は、手順 8 をご覧ください。

10 [OK] をクリックする。

「印刷」画面が再び表示されます。

11 ［印刷］をクリックする。

印刷が開始されます。

Picture Motion Browser の詳細設定については、Picture Motion Browser のヘルプをご覧ください。

ご注意

動画、RAW データの印刷はできません。

ちょっと一言

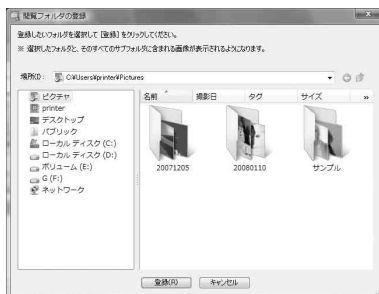
- メイン画面の画像表示エリアで連続している静止画を選ぶには、最初の静止画をクリックし、Shift キーを押しながら最後の静止画をクリックします。連続していない複数の静止画を選ぶには、Ctrl キーを押しながらクリックします。
- 一枚表示画面から印刷することもできます。

閲覧フォルダを登録するには

Picture Motion Browser では、パソコン内の画像を直接見ることはできません。必ず登録が必要になります。登録は、以下の手順で行います。

1 「ファイル」「閲覧フォルダの登録」または、［ ］をクリックする。

閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

2 フォルダツリーから登録したいフォルダを選択して［登録］ボタンをクリックする。

ご注意

ドライブ全体を登録することはできません。

登録の確認画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする。

画像情報のデータベースへの登録が始まります。

4 ［閉じる］をクリックする。

ご注意

- 画像の取り込み先に選んだフォルダは自動的に登録されます。
- ここで登録されたフォルダを解除することはできません。

次のページにつづく

閲覧フォルダを変更するには

「ツール」－「設定」－「閲覧フォルダ」を選び、変更します。

ちょっと一言

- 取り込み元のフォルダ内にサブフォルダがある場合、サブフォルダ内の画像も登録されます。
- 本ソフトウェアを初めて起動する場合、[ピクチャ]の登録を促すメッセージが表示されます。
- 画像情報の登録は、画像の枚数によっては数十分かかることがあります。

印刷を中止する

1 タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。

2 キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。

削除確認ダイアログボックスが表示されます。

3 [はい]をクリックする。

印刷ジョブが取り消されます。

ご注意

印刷中のジョブは削除しないでください。
紙づまりの原因になることがあります。

市販のアプリケーションソフトからプリントする

「印刷」画面の［プリンタ］の項目で［DPP-FP75］を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。
ページ設定画面の詳細については、「Picture Motion Browserから写真をプリントする」（40ページ）の手順6、7をご覧ください。

[プリンタの機能]の[フチなし]の設定について

Picture Motion Browser以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-FP75詳細オプション」の［プリンタの機能］を［フチなし印刷］に設定しても、フチありでプリントされてしまうことがあります。
この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、フチなしで印刷できる範囲の情報が提供されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。この場合は、以下の方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
  たとえば、Windows XPの「画像とFAXビューア」の印刷ウィザードの設定では、［フルページ写真プリント］を選択します。

印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

印刷の向きの設定について

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

フチあり、フチなしの設定について

お使いのアプリケーションソフトにフチあり、フチなしの設定がある場合、プリンタードライバーの詳細オプション－プリンタの機能で「フチなし：ON」に設定することをお勧めします。

印刷枚数の設定について

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

エラーが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなイメージが表示されることがあります。
以下に従って対処してください。

エラー表示	意味／処理
NO PHOTO	• NO PHOTO: メモリーカードまたは USB メモリー内に画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは USB メモリーをお使いください。
NO DPOF	• NO DPOF: DPOF（プリント予約）設定された画像がありません。お使いのデジタルカメラで DPOF 設定を行ってください。
?	• パソコンで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。画像一覧でこのマークを選択し、ENTER ボタンを押して　一枚表示画面で、画像が表示されれば、プリントは可能です。一枚表示画面でも、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、プリントできません。
	• 本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。画像一覧でこのマークを選択し、ENTER ボタンを押して一枚表示画面にし、 画像が表示されれば、プリントは可能です。一枚表示画面にしても、左のマークが表示される場合はプリントはできません。
PictBridge EXT INTERFACE	• 本機でサポートしていないUSB機器が接続されたか、 接続した機器の USB 設定が正しくありません。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
PictBridge EXT INTERFACE	• 本機では､USB ハブあるいは USB ハブ内蔵機器はサポートしていません。USB ハブを使用せず本機に直接つなぐか、USB ハブを内蔵していない機器をお使いください。

次のページにつづく

エラー表示一覧

エラー表示	意味／処理
	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。本機に対応しているメモリーカードまたは USB メモリーをお使いください。
	• メモリーカードに何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。
	• インクリボンがありません。下記の通り表示されているサイズのインクリボンを入れ、PRINT ボタンを押してください。 (➡9 ページ) – L: L サイズ用インクリボン – P: P サイズ用インクリボン
	• インクリボンが終了しました。表示されているサイズの新しいインクリボンを入れ、PRINT ボタンを押してください。 (➡9 ページ) – L: L サイズ用インクリボン – P: P サイズ用インクリボン
	• インクリボンが正しくありません。斜線が付いて表示されているサイズではなく、下に表示されているサイズのインクリボンをセットして、PRINT ボタンを押してください。(➡9 ページ) – L: L サイズ用インクリボン – P: P サイズ用インクリボン
	• インクリボンがつまりました。 本機の電源を入れなおしてください。 回転が止まったらインクリボンを取り出して新しいインクリボンを入れてください。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

エラー表示	意味／処理
	• プリントペーパーまたはクリーニングシートがありません。表示されているサイズのペーパーを入れ、PRINT ボタンを押してください。（→10 、58 ページ） – L: L サイズプリントペーパー – P: P サイズプリントペーパー – C: クリーニング用のクリーニングシート
	• プリントペーパーが正しくありません。下記の通り表示されているサイズのプリントペーパーを入れ、PRINT ボタンを押してください。（→10 ページ） – L: L サイズプリントペーパー – P: P サイズプリントペーパー
	• 紙づまりです。 「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。（→57 ページ)
	• ペーパートレイが入っていません。プリントペーパーまたはクリーニングシートをトレイに入れ、ペーパートレイを本機にセットしてから、PRINT ボタンを押してください。（→9 ページ）

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう１度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグが正しく差し込んでありますか？	➔ 正しく接続してください。

画像を表示する

「プリンターの電源は入っているが印刷が始まらない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードやUSBメモリーは正しく挿入されていますか？	➔ 正しく挿入してください。（➡17 、31 、32 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？ また、USB メモリーには画像が保存されていますか？	➔ 画像の入っているメモリーカードまたは USB メモリーを挿入してください。 ➔ プリント可能なファイルフォーマットを確認してください。（➡62 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	➔ DCF に準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機では表示、プリントできない場合があります。
一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。	• 画像一覧（インデックス）画面で画像が表示されていますか？	➔ 画像が表示されているのにプリントできない場合は、プリントするための画像ファイルが壊れています。 ➔ DCF に準拠していないファイルはパソコンで表示できても、本機ではプリントできない場合があります。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。表示されているのにプリントできない。	• メモリーカードまたはUSBメモリー内の画像枚数が 999 枚を超えていませんか？	➔ 本機で再生、プリントなど、扱える画像ファイル数は最大で 999 枚です。メモリーカードまたは USB メモリー内に 999 枚を超える画像ファイルが保存されている場合は、PC モードまたは PictBridge モードをお使いください。
	• パソコンなどでファイル名を変更しましたか？	➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカードまたはUSBメモリー内の 7 階層以上のフォルダがありませんか？	➔ 7 階層以上のフォルダ内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• パソコンなどでファイル名を変更しましたか？	➔ パソコンでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、パソコンなどで作成したファイルは、ファイル名の最初の 8 文字が表示されます。
画像編集でプレビュー画面に上下の余白ができる。	• 極端に縦長または横長の画像ではありませんか？	➔ 極端に縦長または横長の画像は、画像編集の際、比率の関係で上下に余白が生じることがあります。 ➔ デジタルカメラで撮影した画像の縦横比は一般的に 3：4 ですが、画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像は、3：4よりも横長のプリントイメージとして保存されることがあるため、一覧表示ではカットされた上下部分が黒く表示されます。

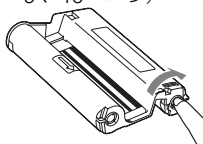
次のページにつづく

プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れて印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される、こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。プリント中にプリントペーパーの端が出てくる。	• プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか？	→ プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。（→10 ページ） • 正しい組合せのプリントペーパーとインクリボンを入れてください。 • プリントペーパーは正しい向きで白無地を上にして入れてください。 • トレイにはプリントペーパーは一度に 20 枚までしか入りません。20 枚以上の場合は取り除き 20 枚までにしてください。 • L サイズのプリントペーパーをお使いの場合、L サイズのアダプターを正しくセットしてください。 • プリントペーパーを良くさばいて、トレイに入れてください。
	• 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。 （→ **別冊「プリントパックについて」**）
プリントペーパが白紙で出てくる。	• ミシン目が切り離されていませんか？ • 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーをお使いになると、故障の原因になります。 （→ **別冊「プリントパックについて」**）

プリント結果

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	• プレビュー画像データをプリントしていませんか？	→ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、画像の一覧表示で本画像データの他にプレビュー画像データなどが表示される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を削除する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。
	• 画像サイズの縦または横が 480 ドット以下の画像をプリントしていませんか？	→ 画像サイズが小さいため、プリントは粗くなります。
	• 画像編集で画像を拡大していませんか？	→ 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
	• RAW モードで撮影しませんでしたか？	→ RAW モードで撮影した場合は、同時に圧縮率の高い JPEG ファイルが記録されている可能性があります。本機は、RAW ファイルに対応していないため、JPEG ファイルの方を印刷します。RAW ファイルは、一般的には、パソコンを使用すれば印刷可能です。RAW ファイルをパソコンを使用して印刷する方法は、ご使用のデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。 **RAW ファイルとは？** 撮影したデータを圧縮せずに独自のフォーマットで保存したものです。RAW ファイルで保存可能かどうかは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。	－	→ 発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。なお、画質の調整は次の設定で行うことができます。 • MENU ボタン－［設定］－［プリント画質］（29 ページ） • MENU ボタン－［画像編集］－［画質調整］ （設定は、表示されている画像のみ反映されます。）（22 ページ）

症状	チェック項目	対処方法
メモリーカードやUSB メモリーからダイレクトにプリントした場合と、パソコン経由でプリントした場合とでは、プリントイメージが異なる。	ー	→ 本機内部での処理とパソコンのソフトウェアでの処理の違いもあり、まったく同じにはなりません。
日付けがプリントされない。	• ［日付プリント］設定が「ON」になっていますか？	→ MENU ボタンー［設定］ー［日付プリント］の設定を「ON」に切り換えてください。（ 27 ページ）
	• DCFに準拠した画像ファイルですか？	→ 本機の［日付プリント］は、DCF に準拠した画像ファイルのみをサポートしています。
日付けがプリントされてしまう。	• ［日付プリント］設定が「OFF」になっていますか？	→ MENU ボタンー［設定］ー［日付プリント］の設定を「OFF」に切り換えてください。（ 27 ページ）
	• デジタルカメラでの撮影時に、日付けも一緒に画像に入っていませんか？	→ 画像に日付が入っている場合は、日付なしのプリントはできません。
印画範囲いっぱいに印画されない。余白が残る。	• ［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］または［フチあり 2］になっていませんか？	→ MENU ボタンー［設定］ー［プリント仕上げ］の設定を「フチなし」に切り換えてください。（ 27 ページ）
	• 画像の縦横比は、合っていますか？	→ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なるため、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。
［フチなし］プリントに設定しているのにプリントしたら左右に余白が残った。	ー	→ 画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像には、画像の周囲の余白部分も画像データとして保存されることがあります。このような画像の場合［フチなし］プリントに設定しても左右に余白が残ります。
画像全体をプリントできない。	• ［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］になっていますか？	→ ［フチあり 1］に設定すると画像全体がプリントされます。（ 27 ページ）
斜めにプリントされてしまう。	• ペーパートレイが斜めに装着されていませんか？	→ ペーパートレイを再度固定するまでしっかりとまっすぐに差し込んでください。
白いスジやキズが入る。	ー	→ 付属のクリーニングカートリッジでプリントヘッドなど本機内部のクリーニングをしてみてください。（ 58 ページ）

症状	チェック項目	対処方法
画像が暗い、明るい、赤すぎる、黄色すぎる、緑色すぎる。	ー	→ MENU ボタンー［画像編集］ー［画質調整］で修正してください。（→22 ページ）
画像編集メニューが使えない。	• （赤目補正）ボタンで補正をした後に、拡大 • 縮小、回転 • 移動の編集操作を行いませんでしたか？	→ （赤目補正）ボタンでの補正を行ったあとで、画像編集メニューは選べません。先に画像編集を選んでから、赤目補正を行ってください。

設定する

症状	チェック項目	対処方法
フチあり／フチなし設定ができない。	• 分割写真機能をお使いですか？	→ テンプレートを使用しているため、フチあり／フチなしの選択はできません。

その他

症状	チェック項目	対処方法
インクリボンが上手く入らない。	ー	→ いったんインクリボンを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合は、インクリボンの芯を矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。（→9 、10 ページ）
インクリボンが取り出せない。	ー	→ 本機の電源を入れ直してください。回転が止まったらインクリボンを取り出してください。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラの液晶モニターに「PictBridge」マークが表示されない。	• ケーブルが正しく接続されていますか？	→ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか？	→ 本機の電源を入れてください。
	• お使いのカメラが PictBridge に対応していますか？	→ お使いのデジタルカメラに付属の取扱説明書をご覧いただくか、デジタルカメラメーカーにお問い合わせください。
	ー	→ 本機のメモリーカードスロットにメモリーカードが入っていませんか。 メモリーカードが入っている場合は、メモリーカードを取り出してください。
	• お使いのデジタルカメラのUSB設定は PictBridge モードになっていますか？	→ お使いのデジタルカメラの USB 設定を PictBridge モードに設定してください。
USB ケーブルを抜き差ししても何も起こらない。	ー	→ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう一度入れなおしてください。
取消ボタンを押してもプリントが中止されない。	ー	→ 現在プリント中の次からのプリントが取り消されます。 → デジタルカメラによっては、本機の取消操作ではプリントを中止できない場合があります。その場合はデジタルカメラから操作してプリントを中止してください。デジタルカメラに付属の取扱説明書も併わせてご覧ください。
インデックスプリントができない。	ー	→ 本機では、DPOF プリントのインデックスプリントはプリントできません。メモリーカードを直接本機に入れてください。 (→26 ページ)

パソコンとの接続

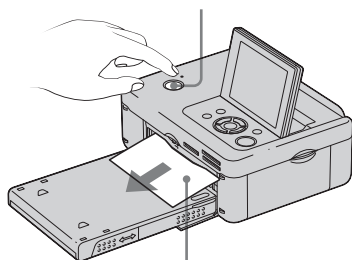
症状	チェック項目	対処方法
本機に接続したメモリーカードまたは USB メモリーの画像がパソコンで見られない。	ー	➔ 本機には、パソコンから本機のメモリーカードまたは USB メモリーの画像を読みとる機能はありません。
ドライバ CD-ROM を紛失したので入手したい。	ー	➔ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ドライバーがインストールできない。	• 手順通りインストールされていますか？	➔ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストールが強制終了した場合は、パソコンを再起動して再インストールしてください。
	• 他のアプリケーションを起動していませんか？	➔ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
	• インストール用 CD-ROM ドライブが正しく指定されていますか？	➔ マイコンピュータをダブルクリックして、開いたウィンドウにある CD-ROM アイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書 36 ページをご覧ください。
	ー	➔ USB ドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。
	• ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか？	➔ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、あらかじめ終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。
	• 管理者権限のあるユーザーでログインされていますか？	➔ 管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。
パソコンから印刷実行指示をしても本機が反応しない。	ー	➔ パソコン画面上にエラーがない状態で本機が反応しない場合は、本機の液晶画面を確認してください。 エラー表示が出ている場合、以下の操作を行ってください。 1.AC アダプターをコンセントから抜く 2.そのまま 5 秒〜 10 秒程度放置し、再度 AC アダプターをコンセントにつなぐ。 3.パソコンを再起動する。 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口までご相談ください。

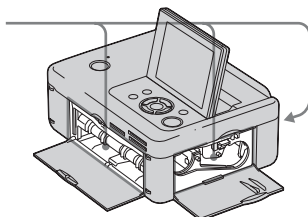
次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
フチなしに設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。	• Picture Motion Browser 以外のアプリケーションをお使いですか？	→ Picture Motion Browser 以外のアプリケーションでは、「フチなしプリント」に設定しても、フチありにレイアウトして印刷するものがあります。以下の設定をしてください。 – フチあり / フチなしの設定項目があるアプリケーションでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。
ドライバーの［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で設定した枚数と印画結果が違う。	–	→ 使用するアプリケーションによっては、アプリケーションで設定した値が優先されます。
メモリーカードから印刷したときと色が異なる	–	→ メモリーカードからの印刷とパソコンからの印刷では、印刷までの処理が異なるので、全く同じにはなりません。

プリントペーパーがつまったら

1 **インクリボン、ペーパートレイを取りはずさずに、⏻（電源）ボタンを押しいったん切ってから、再度電源を入れる。**

自動的にプリントペーパーが排出されますので、お待ちください。

2 **排出されたプリントペーパーを取り除く。**

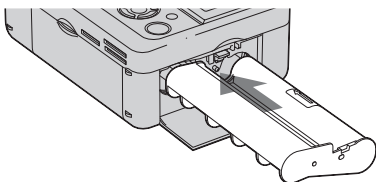
3 **ペーパートレイとインクリボンを取り出して、内部にプリントペーパーがつまっていないことを確認する。**

ちょっと一言

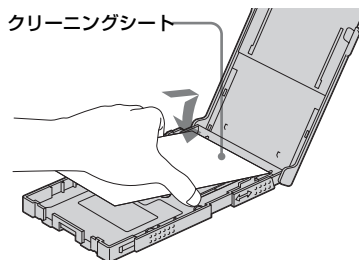
プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

クリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、同梱されているクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使い、内部のクリーニングを行ってください。クリーニングを行う場合は、あらかじめメモリーカードやUSBメモリー、USBケーブルなどをはずしてください。

1 **インクリボンドアを開け、印刷用のインクリボンが入っている場合には、インクリボンを取り出す。**

2 **付属のクリーニングカートリッジを入れ、インクリボンドアを閉める。**

3 **ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。**

4 **クリーニングシートを印刷のない面を上にして、ペーパートレイにセットする。**

5 **ペーパートレイを本機にセットし、印刷ボタンを押す。**

クリーニングカートリッジとクリーニングシートが本機内部をクリーニングします。クリーニング中は印刷ランプが点滅します。クリーニングが終わるとクリーニングシートがペーパートレイに排紙されます。

6 **クリーニングカートリッジとクリーニングシートを取りはずす。**

ちょっと一言

クリーニングカートリッジとクリーニングシートはなくさずに保存してください。

ご注意

- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 印刷用のプリントペーパーの上にクリーニングシートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 1度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2、3度クリーニングすることをおすすめします。
- パソコン接続中や、PictBridge接続中はクリーニングできません。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにしてください。故障の原因となります。

AC アダプターについてのご注意

電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。

結露について

本機を温度の低い場所から暖かい場所に移動すると、本機の内部に水滴のつくことがあります。これを結露といいます。
この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、インクリボン、ペーパートレイ、メモリーカード、USB メモリー、AC アダプターを本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本体の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

本製品を使用して模造または複製する場合には、次の点に充分注意してください。

- 紙幣、貨幣、有価証券などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許証、旅券、民間発行の有価証券、未使用の郵便切手などの複製は禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

次のページにつづく

メモリーカードについて

" メモリースティック "

本機でお使いになれる " メモリースティック "

本機では以下の " メモリースティック " をご使用になれます。*1

" メモリースティック " の種類	表示・印刷
" メモリースティック "*2（マジックゲート非対応）	○
" メモリースティック "*2（マジックゲート対応）	○*5
" マジックゲートメモリースティック " *2	○*5
" メモリースティック PRO" *2	○*5
" メモリースティック PRO-HG" *2	○*5*6
" メモリースティック マイクロ "*3（"M2"*4)	○*5

*1 本機は FAT32 に対応しています。8GB までのソニー製 " メモリースティック " で動作確認を行っています。ただし、すべての " メモリースティック " メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。" メモリースティック デュオ " アダプターなしで、標準サイズの " メモリースティック "、小型の " メモリースティック デュオ " のどちらでもご使用いただけます。

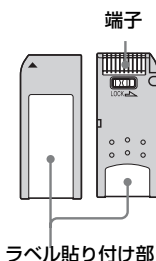
*3 " メモリースティック マイクロ " を本機でお使いの場合は、必ず " メモリースティック マイクロ " を M2 アダプターに入れてからお使いください。

*4 "M2" は、" メモリースティック マイクロ " の略称です。本文では今後略称 "M2" を用いて記述します。

*5 著作権保護技術（" マジックゲート "）が必要なデータの読み込み、記録はできません。" マジックゲート " とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な " メモリースティック " についての最新情報は、ホームページ上の「" メモリースティック " 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の " メモリースティック " を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- メモリースティックマイクロを M2 アダプターに装着せずに挿入されますと、取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの M2 アダプターに " メモリースティック マイクロ " を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- " メモリースティック " を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。パソコンでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。

- SD メモリーカード*1
- MiniSD メモリーカード、microSD メモリーカード
  （アダプターが必要です）
- SDHC メモリーカード*2
- MMC 規格メモリーカード*3

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
*2 8GB までの SDHC カードで動作確認を行っています。
*3 2GB までの MMC 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込みはできません。

x D-Picture カード

本機は、xD-Picture Card*5 をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture カードの動作を保証するものではありません。

*5 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

カード使用上のご注意

- 本機では、データの書き込み・削除やフォーマットはできません。
- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- データの読み込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

プリント方式
昇華型熱転写方式YMC3色重ね

プリント解像度
300 dpi×300 dpi

画像処理
YMC各8ビット（256階調）

印刷範囲
1,800 ドット×1200　ドット

プリントサイズ
Lサイズ：
89×127 mm（最大、フチなし）
Pサイズ：
101.6×152.4 mm（最大、フチなし）

プリント時間（1枚）
［メモリーカード］*1*2*3*4
Lサイズ：約56秒
Pサイズ：約63秒
［PictBridge］*3*5
Lサイズ：約56秒
Pサイズ：約63秒
［PC］*6
Lサイズ：約53秒
Pサイズ：約60秒

入出力端子
USB端子（Full Speed）
PictBridge/EXT INTERFACE端子
"メモリースティック"スロット
SDメモリーカードスロット
xD-Pictureカードスロット

プリント可能なファイルフォーマット
JPEG： DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF*7
TIFF： Exif 2.21準拠
BMP*8：1、4、8、16、24、32ビットWindows形式
画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大画素数
8,000×6,000ドット
(インデックスプリント除く）

ファイルシステム
FAT12/16/32

画像ファイル名
DCF形式、8.3形式、6階層以下

最大画像ファイル数
メモリーカード1枚／USBメモリー1つにつき999枚

使用インクリボン／プリントペーパー
別冊「プリントパックについて」参照

液晶画面
液晶パネル：8.8cm（3.5型）
TFT駆動
総ドット数：230,400
（320RGB×240）ドット

電源
DC IN端子入力、DC24V

消費電力
印刷時：72W（最大）
スタンバイ時：1W以下

動作温度
5℃～35℃

外形寸法

約 180×66.8 x 137 (148.5) mm
(幅/高さ/奥行き)（ハンドル含む）
ペーパートレイ取り付け時の奥行き：
上記奥行きより長くなります。
Pサイズ：約316 mm
Lサイズ：約290 mm

質量

約1.1ｋg
（ペーパートレイ約115g、ACアダプター含まず）

付属品

本誌「付属品を確認する」（9 ページ）参照

■ AC アダプター AC-S2416

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz、
1.2A Max

定格出力

DC24V、1.６A（Peak3.０A、9.2ｓ）

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

約60×30.5×122 mm
（幅／高さ／奥行き）（突起部、ケーブル部を含まず）

質量

約300 g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

プリント可能な枚数の目安は約 2,000 枚（P サイズ）です。総プリント枚数については、MENU ボタン -[設定]-[プリンター本体情報表示] をご覧ください(29 ページ)。

*1 プリント設定:フチなし、日付けなし

*2 当社、有効 1210 万画素相当のデジタルスチルカメラで撮影した画像（ファイルサイズ 4.4MB）を本機液晶画面よりプリントした時間

*3 PRINT ボタンを押してからプリントが終了するまでの時間（使用される機器、画像データの大きさや形式、メモリーカードの種類、アプリケーション設定、使用条件によって変わる場合があります。）

*4 本機のスロットに挿入した " メモリースティック PRO デュオ " からのプリント

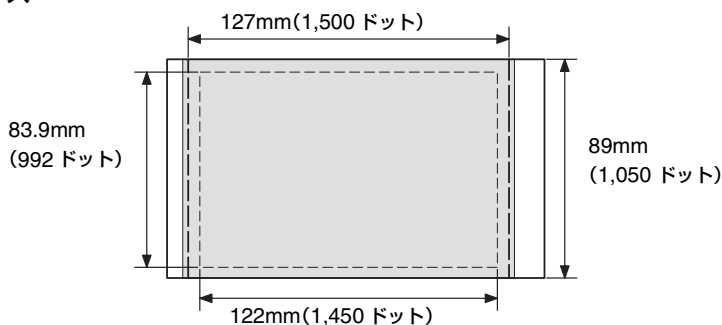
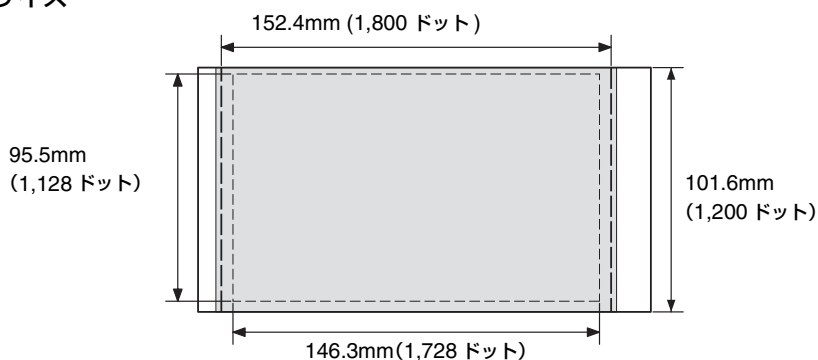
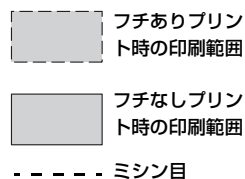
*5 DSC-W200 を USB 接続し、「プリントボタン」を押してからプリントが終了するまでの時間

*6 データ転送時間とデータ処理時間を除く

*7 4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン JPEG

*8 Picture Motion Browser からは印刷できません。

印刷範囲

L サイズ

P サイズ

上の図は縦横比が 2：3 の画像の場合の印刷範囲と余白を示しています。印画範囲は、フチなし、フチありプリントによって異なります。フチありプリントの場合、余白のサイズはプリントする画像の縦横比によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-FP75
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- パソコンをご使用の場合はパソコンの環境：
  – ご使用パソコンの機種名
  – メモリー容量
  – ハードディスクなどの容量
  – プリンタードライバーのバージョン

用語集

DCF（ディー シー エフ）

DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）で、主としてデジタルカメラなどの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File System」の略称です。ただし、「DCF 規格」は、機器間の完全な互換を保証するものではありません。

DPOF（ディーポフ）

デジタルカメラで撮影した画像をラボプリントショップや家庭用のプリンターで自動プリントするための情報を記録するフォーマットで、「Digital Print Order Format」の略称です。本機は、デジタルカメラで作成された DPOF によるプリント予約および枚数予約に従って自動プリントを行うことができます。

Exif 2.21 (Exif Print)（イグジフ 2.21（イグジフプリント））

デジタルフォトプリントの世界標準規格です。Exif Print に対応したデジタルカメラでは、撮影条件に関する情報が画像データ と共に記録されます。

" メモリースティック " ／ xD-Picture カード /SD メモリーカード

小型のメモリーカードです。詳しくは、60 ～ 61 ページをご覧ください。

PictBridge（ピクトブリッジ）

カメラ映像機器工業会 (CIPA) で制定された統一規格のことです。PictBridge 規格対応デジタルカメラと本機を接続して、デジタルカメラの画像ファイルをプリントすることができます。

警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、" メモリースティック " などのメモリーカードや、デュオサイズの M2 アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指定の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 20cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しや逆さまで使用しない。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

動作中、通紙口に手を触れない、また、覗かない

急に紙が出てきて、けがの原因になることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを乗せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

電源コード、接続コード、ペーパートレイ、インクリボンドア、ペーパートレイ、液晶部などを持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

ハンドルを持ってふりまわさない。

ぶつけたり壊れたりして、怪我の原因となることがあります。

CD-ROM について

同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

索引

アルファベット順

D

E

I

L

P

S

U

X

五十音順

ア

イ

エ

オ

カ

キ

ク

コ

シ

ス

セ

ソ

ト

ニ

ハ

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトプリンターの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、プリンタードライバーのOS対応情報など）はこちらのホームページから

http://www.sony.co.jp/DPP/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。

http://www.sony.co.jp/ mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話… 0466-31-2531

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」　＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金：9:00～20:00　土･日･祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China